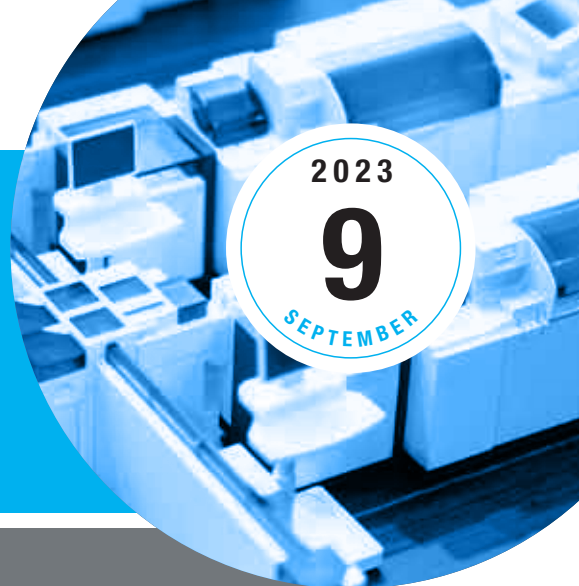


Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言
技師会活動における会計部の役割
..... 1
- 第22回愛知県医学検査学会を
終えて..... 2~4
- 愛臨技HP求人情報掲載について
..... 4
- メールアドレス登録のお願い ... 4
- 地区だより(尾張南) 5
- 中部圏支部研修会「臨床血液部門
研修会」開催案内 6
- 基礎講座、研究会 7
- AiCCLS 愛知県臨床検査標準化
協議会通信(第89回) 8
- 著作物紹介..... 8

2023年8月10日現在 正会員数 3,756名

技師会活動における会計部の役割

会計部 部長 石神 弘子

新型コロナウイルス感染症も5類感染症となり、世の中が一気に動き出した感があります。技師会活動もコロナ下の約3年で大きく変わってきました。多くの会議は完全 web に切り替わりましたが、その後 web と集合を取り入れて開催されています。学部や研究班の研究会、講演会も現地開催とオンデマンド配信が、企画によって使い分けられています。そんな中、今年度の県学会は久しぶりの現地開催となり、多くの方が参加され賑わいと熱気を感じることができました。オンデマンドは便利ですが、やはり現地開催はいい、そんな声を多くの方が耳にされたかと思います。このような状況の中、準備いただいた県学会実行委員会の皆様のご尽力に感謝いたします。また、今まで紙で印刷したらぼニュースを手にとっていただいていたのですが、こちらでもデジタル化をすすめ、スマートフォンなどからさくっと見るらぼニュースに変わりました。このようにコロナ前には、まだ先のこととと思っていたデジタル化は一気に進み、web 会議や研究会の配信は当たり前のこととなっています。現地開催の良さ、オンデマンド配信の便利さを取り入れつつ、今後の技師会活動が行われていきます。

愛臨技は来年度予算作成の時期になってきました。各事業部は、今の時代だからこそやりたい企画、研究会を計画しているかと思います。会計部ではこうした技師会活動の変化に対応した予算を作成し、各事業部から出される要望をなるべく多く実現し、会員の皆様のお役に立ちたいと考えております。もちろん公益社団法人としての会計の要件には目を配っていくことも必要です。各事業部の予算執行状況を確認しながら来年度の技師会活動の枠組みとなる予算案を作成します。臨床検査技師を取り巻く環境が変わりつつある今だからこそ是非、多くの行事により多くの会員の皆さんがご参加いただきますようお願い申し上げます。



第22回愛知県医学検査学会を終えて

第22回愛知県医学検査学会 学会長 迫 欣二

第22回愛知県医学検査学会は知多地区担当で、令和5年7月2日(日)知多市勤労文化会館、および隣接するメディアス体育館ちた に於いて盛会のうちに終了いたしました。

今回の学会のメインテーマは「臨床検査の New Normal」、サブタイトルは“タスク・シフト/シェアの実践”を掲げ、ちょうど1年前にこの実行委員会を立ち上げ、この日の為に1年間かけて18名の委員の知恵を振り絞って準備を進めて参りました。学会当日は梅雨時期でもあり前日まで降り続いた雨を心配しておりましたが何と当日は朝から快晴で、30℃を越える蒸し暑いスタートとなりましたが、その為か参加者の出足が鈍く、内心は大変心配しておりましたが終わってみれば学生20名を含む合計733名もの多数の参加者に恵まれ、実行委員一同胸をなでおろすことができました。今回の学会では特に特別講演、シンポジウムの時間帯には一般演題を配置しないこと、新型コロナ対策としてゆったりとしたスペースを確保すること、若手技師の参加が多いことから研究班に協力を依頼しハンズオンセミナーを開催すること、大型モニターを使った電子ポスター発表を実施すること、地元地域色を生かしたイベントにすることなどをモットーに多くのプログラムを作成いたしました。残念ながら電子ポスター発表には応募が2名しかなく、やむなく中止ということになってしまいましたがその他はすべて計画通りに進めることができました。電子ポスター発表に応募頂いた2名の方々には大変申し訳なく思っております。しかしこの大型モニターを利用したオープンスペースでの演題発表や、協賛企業の動画展示は多くの方々にご視聴いただくことができ、怪我の功名とでもいふべきか、大きな反響がありました。その他一般演題にも60題を越えるエントリーがあり、何とか愛知県医学検査学会としての体を保つことができました。以下に開催日を振り返ります。

オープニングセレモニー

朝一の地元日本福祉大学附属高校和太鼓部による力強い演奏に度肝を抜かれた方も多かったのではなかったでしょうか。学会オープニングを飾るに相応しい素晴らしい演奏でした。ちなみに和太鼓部全国大会優勝校とのこと。



特別講演

「島民の暮らしを支える 篠島診療所にできること」と題して篠島診療所長の保里先生にご講演いただきました。コトー診療所のようなドラマは聞けませんでした。高齢化の進む島の現状とこれを受け止める診療所の体制について興味深く拝聴いたしました。



シンポジウム

本学会のサブタイトルでもある“タスク・シフト／シェアの実践”を取り上げ、Webと現地でのハイブリッド形式のシンポジウム開催に初挑戦しました。途中発言者の音声が届かず、一部のシンポジストにはご迷惑をおかけしましたが各演者のご発表に対し、活発な議論ができたのではないかと考えております。また講習を終え今一步踏み出せずにいる会員の皆様にとってはいい刺激になったのではないのでしょうか。今後一臨床検査技師から一医療人としてのステップアップが期待されるところです。

一般演題

5つの会場であわせて60題の演題発表がありました。どの会場も活発な意見交換があったと報告をうけております。残念ながら緊急検査士の試験日と重なってしまったこともあり、演題の取り消しが数題出てしまいました。1年前に予想した本試験日が前年と1週間ずれてしまったことによりますが、試験のために演題を取り下げられた会員の方にはお詫び申し上げます。



ハンズオンセミナー

一般研究班“尿沈渣の見方”には6名の受講者、血液研究班“血液像の見方”には8名の受講者、生理研究班“神経伝導速度”には4名の受講者、“頸動脈エコー”には8名の受講者、病理研究班“凍結切片作成”は20名余の受講者に対してそれぞれ実機を使用して正に手取り足取り指導していただきました。おかげで参加した受講生からは大変好評を得ました。協力いただきました研究班の皆様には感謝申し上げます。



共催セミナー(ランチョンセミナー)

4会場600名の想定で予算を設定し、メーカーの選定から会場の確保、弁当の発注数決定など初めての経験に開催直前までドキドキハラハラでしたが、何とか無事終了することができました。共催いただきました企業の皆様に感謝いたします。



機器展示

24社23ブースの企業に参加いただきましたが、施設の老朽化による停電のため、予定の半分しか電力供給ができず、大変ご迷惑をお掛けしました。しかしながら体育館の広いスペースを生かして大勢の方々にゆったりとした機器展示をお楽しみいただけたのではないかと考えております。



新人技師、および初めての学会発表を終えた感想

1年目 女性技師

初めて学会でしたが県内の様々な分野で働く臨床検査技師の皆さんがそれぞれの場所で患者さまにより良い検査値が届けられるよう日々探求されていることがよく分かりました。自分も先輩方のように日々の業務にやりがいを見つけ、患者さまの為になる医療を目指して働いていきたいと感じました。

3年目 女性技師 初めての学会発表

初めての学会発表を経験し、スライドの作成や会場の空気感など多くの事を学ぶことができました。他の先生方の演題も大変勉強になり、私にとって貴重な経験となりました。今回このような機会をいただきました職場の皆様に感謝申し上げます。

最後に本学会の開催にあたりご後援いただきました愛知県、知多市、知多市教育委員会、愛知県医師会、愛知県病院協会をはじめ、共催、協賛いただきました企業の皆様、愛臨技理事の皆様、ご発表いただきました保里先生をはじめ会員の皆様、当日参加いただきました愛臨技会員の皆様、また学会運営にご協力いただきました実務委員の皆様には実行委員一同、心より御礼申し上げます。

愛臨技 HP 求人情報掲載

愛臨技 HP に臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技 HP 会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技 HP にてご確認ください。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web 版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp



救命救急災害棟(仮称)完成予定図
(名古屋市立大学病院公式ウェブサイトから引用)

名古屋市立大学病院は昭和6年に名古屋市民病院として設立された病院です。昭和区と瑞穂区のちょうど境目の高台に位置しています。現在は、名鉄・JR金山駅から名古屋市営バスが、名古屋駅からは名古屋市営地下鉄桜通線が通じており、遠方からの来院も可能です。地下鉄桜山駅と直結していることから、雨の日でも患者さんが濡れずに来院できる利便性の良い病院です。病院設立時は、9診療科、病床数230床でしたが、現在は35診療科、病床数808床の地域の中核病院として医療を提供しています。

2021年4月に名古屋東部医療センター、名古屋西部医療センター、2023年4月に名古屋市立緑市民病院、名古屋市厚生院附属病院が名古屋市立大学医学部の附属病院となり、現在は当院を含めた名古屋市立大学5病院体制として稼働しています。5病院全体では、病床数が約2千床で、全国の国公立大学病院で最大規模となりました。また、令和7年夏頃には救急・災害医療センター(仮称)が開棟予定となっています。救急・災害に特化した診療科・病床を1つに集約し、高齢化進展に伴う市内の救急搬送の増加、南海トラフ地震など災害発生時の災害医療活動、救急科専門医の人材育成に対応するための拠点となる建物です。

こうした昨今の目まぐるしく変化する医療業界に柔軟に適応し、より一層地域に根付きながら名古屋市および近隣地域の医療を支えています。各病院が特長を生かしながら、高度急性期から慢性期まで幅広い医療を提供していけるよう、スタッフが一丸となって取り組んでいます。

ここで病院周辺のおすすめスポットをご紹介します。

●山崎川四季の道

病院の東側に「日本さくら名所100選」にも選ばれている山崎川が流れています。

山崎川沿いを約2.5kmにわたって約600本のソメイヨシノが植えられ、遊歩道も整備されています。桜を眺めながらゆったりと散歩を楽しめます。

訪れた事が無い方は花見シーズンになりましたら是非一度お越しください。



山崎川桜(名古屋市公式ウェブサイトから引用)

●瑞穂公園

陸上競技場や体育館、野球場、ラグビー場、テニスコートなどの施設が揃う「パロマ瑞穂スポーツパーク」を備え、広場・散策路、児童園も整備されています。広大な敷地で豊かな緑に囲まれた総合運動公園として地元の方々に親しまれています。

陸上競技場は、2026年のアジア競技大会に向けて改装しています。世界規模の大会に見合う陸上競技場が建設され、新たな名古屋の名所になると期待される、新しい瑞穂公園の誕生が楽しみです。

令和5年度 日臨技中部圏支部研修会 「臨床血液部門研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

実務担当技師会：三重県臨床検査技師会

【テ ー マ】 「リンパ球を極めよう」

【日 時】 令和5年10月28日(土) 13:00～29日(日) 12:30

【場 所】 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B 講義棟 3513
510-0293 三重県鈴鹿市南玉垣町1001-1

【定 員】 130名

【受 講 料】 9,000円

【申し込み方法】 日臨技 HP より申し込み

【申込期間】 8月1日(火)～9月20日(水)

【日 程】

≪1日目≫ 10月28日(土)

12:00～12:45 受 付

12:45～ 開講式／オリエンテーション

13:00～14:00 講演1『リンパ球の見方』

講師：獨協医科大学病院 臨床検査センター 新保敬先生

14:15～15:15 講演2『リンパ系腫瘍を学ぼう！』

講師：東京大学医学部附属病院 検査部 常名政弘先生

15:30～15:40 休憩

15:45～16:45 講演3『リンパ系腫瘍の表面マーカーについて』

講師：滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 池本敏行先生

17:00～17:45 講演4『CT 画像でのアプローチ』

講師：聖隷沼津病院 放射線科 田沢範康先生

≪2日目≫ 10月29日(日)

8:30 受 付

9:00～10:00 講演5『リンパ系腫瘍を見つけるポイント』

講師：鈴鹿回生病院 血液内科 渡邊泰行先生

10:15～10:45 講演6『リンパ系腫瘍の病理診断』

講師：三重大学医学部附属病院 病理部 今井裕先生

11:00～11:10 休憩

11:15～12:15 三重県企画『症例検討』

12:20～ 閉講式

研修会事務局

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112-1

鈴鹿回生病院 臨床検査課 広瀬逸子

Tel：059-375-1312(直通) FAX：059-375-1351

Emai：byouri@kaiseihp.com

基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点
日時：10月29日(日) 10:00～16:00
(9:30より受付開始)
場所：リップルスクエア
アーバンネット名古屋ビル20F
参加方法：日臨技HPから事前参加登録
9月1日(金)～30日(土)
定員：40名
参加費用：1,500円(PassMarketにて事前支払い)
PassMarket チケット購入用URLは後日メールにて配信
テーマ：化学免疫の基礎と実践
講師：
1. 化学免疫のピットフォール 江南厚生病院 伊藤 智恵
2. 精度管理の見方・運用について
シスメックス株式会社 喜久 智司
3. R-CPC 愛知医科大学 医学部内科学講座 森下 啓明
4. 血ガス生理学の基礎と応用
ラジオメーター株式会社 平尾 優太
5. 各種測定法の原理と特徴 海南病院 伊藤 直之
司会：愛知医科大学病院 森部 龍一
刈谷豊田総合病院 神谷 美聡
内容：ルーチン業務で遭遇しやすい事例や精度管理の困りごとなど、実践を組み込んでお話しします。また、本基礎講座は、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度の更新指定研修会(一括型：15単位)として承認されております。申請状況については愛臨技 HP 生物化学分析検査研究班のページをご確認ください。
募集定員に達し参加登録できなかった場合は、キャンセル待ちを受け付けます。キャンセル待ちを希望される方は、件名を【化学班基礎講座キャンセル待ち】とし、所属・氏名・技師会会員番号を明記の上、aamt-chem@aichi-amt.or.jp まで直接ご連絡ください。

病理細胞検査研究班

専門教科：20点
日時：10月29日(日) 9:00～16:00
参加方法：日臨技HPから事前参加登録
9月22日(金)～10月23日(月)
定員：60名
参加費用：3,000円(PassMarketにて事前支払)
※ PassMarketチケット購入用URLは後日メールにて配信
場所：修文大学 11号館 愛知県一宮市日光町6番地
テーマ：甲状腺 Up to date ～もう怖くない甲状腺～
講師：
1. 「甲状腺総論」 修文大学 橋本 克訓
2. 「甲状腺細胞診」 隈病院 鈴木 彩菜
3. 「甲状腺組織診」 藤田医科大学ばんだね病院 浦野 誠
4. 「甲状腺細胞診 標準作製・検鏡実習」 隈病院 鈴木 彩菜
司会：
1. 公立西知多総合病院 吉本 尚子
2. 愛知医科大学病院 櫻井 包子
3. 刈谷豊田総合病院 林 直樹
4. 公立陶生病院 柚木 浩良
実務委員：病理細胞検査研究班班員
内容：甲状腺の細胞診、組織診について一から学び直し、“明日から甲状腺病理について自信を持って仕事ができる”を目標とした基礎講座を企画しました。組織の切り出しや、細胞像の見方・コツ、塗抹・鏡検実習まで網羅した内容です。また、今更聞けない些細な疑問や、日ごろ悩んでいる症例などのお悩み相談も設けます。対面でしか学べない絶好の機会ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。なお、日本臨床細胞学会に細胞検査士のクレジットを申請中です。

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点
日時：10月21日(土) 15:00～17:00
参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
9月16日(土)～10月21日(土)
定員：120名
参加費用：なし
場所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
研修ホール
テーマ：AiCCLS 脳波手引書解説
講師：
1. 脳波手引書解説① 脳波検査の実際
豊橋市民病院 神藤 駿

2. 脳波手引書解説② 脳波記録波形と症例
名古屋大学医学部附属病院 藤澤 嘉朗
司会：トヨタ記念病院 鍋谷 洋介
内容：生理検査研究班では、愛知県臨床検査標準化協議会(AiCCLS)の活動として、脳波検査の手引書を作成してきました。脳波検査に携わり始めた新人技師をはじめ、日ごろ脳波検査の手技について疑問に思っている技師の方を対象に、検査の精度・技術向上を目的とした手引書の解説を展開したいと思います。また、記録された波形について、実際の症例を見ながら知識の共有を図りたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。
事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者を優先させていただくため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

AiCCLS

愛知県臨床検査
標準化協議会

通信
(第89回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、リーフレット「非特異反応の対処等」についてご紹介いたします。

非特異反応の原因や非特異反応を疑う場面、対処について医療従事者などに説明する時、表や図を用いてとても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会 HP の、臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

非特異反応の対処等

非特異反応の原因

免疫学的検査では抗体的検査を測定原理とする検査法が多く用いられているが、非特異反応により臨床判断上から離れた検査結果に遷延することがある。非特異反応とは、目的とする抗原抗体反応以外の反応が起こることにより、臨床判断と異なる検査結果が得られる現象のことである。影響する原因は様々あり、主なものを表1に示す。メーカーも対策を行っているものの、原因が不明なこともある。

原因	非特異反応の発生の一例(文獻)より作成
検査対象物に類似した構造をもつ物質による交叉反応	試薬中の抗体が目的とする抗原との構造と異なることで反応してしまうことにより起こる。当と似た構造を持つ物質による反応などが知られている。
測定対象物質の分子量・多価性による反応性の違い	検査の分子量の違いが原因で、測定対象により測定結果が異なる。Aβ19等が知られている。
産生抗体 (Human anti-mouse antibody/HAMA)の存在	検査薬に含まれる動物由来の抗体が多くのマウス/ラット由来抗体であり、この抗体と反応する抗体が、他にマウス/ラット由来抗体と異なる抗体を産生しているため、この抗体が産生された際に、検査で非特異反応が起こる。
測定対象物質以外の生体成分が測定系に影響	生体成分を行わない検査法では、抗体の孔びや測定系が測定系に影響を与えることがある。
試薬の組成や保存条件	試薬に含まれる抗体がアグロゲーション、凝集後、抗体など反応する物質が溶液中に存在することにより、非特異反応が起こる。
薬剤の影響	Ti(II)にもスチラルファートの樹脂含有によるCAI(9/10)値の高値や、内臓腫瘍症(フィラリア)が原因によりASAが低下することが知られている。
その他	フィブリンやマイクログロブリン、採血管に添着されている細菌や真菌、加齢など影響することもある。

どういった場合に非特異反応を疑うか

検査管理状況が良好であっても非特異反応の検出はまれなことが多い。表2に非特異反応を疑うきっかけとなる事象を示す。臨床へ検査結果を報告する前に前記を念頭に追加チェックすることが望ましい。しかし、これらの対策を踏めずとも、非特異反応が主に臨床判断と異なる結果が得られるケースも存在する。可能な限り、カナル管を要請し臨床判断を支援することも重要である。非特異反応を疑う場合は、表3の対処法を検討する。

原因	非特異反応を疑うきっかけ(文獻)より作成
検査結果が異常高値またはマイナス値などの異常結果を示す	前回値と比較して、変動幅が考えられない
関連する検査項目と検査結果が矛盾する	高値検体における再測定性の欠如
別の検査法で検査結果が異なる	別の検査法で検査結果が異なる
臨床判断と一致しない	臨床判断と一致しない

非特異反応の対処法

施設内で実施困難な場合はメーカーと検討を行うことになる。個人情報保護などの観点からメーカーに結果依頼をすることが難しい場合もある。その際は施設にて試薬を認定する必要がある。フローチャートを図1に示す。

- 検査を中止
検体を再凍結することにより、検体中に存在するフィブリンなどの影響を除去する。
- 反応タイムコースの確認
反応タイムコースを確認し、異常反応が起きているかを確認する。
- 測定試薬・試薬との適合性の確認
測定に用いる抗体や装置が異なる検査法を用いて、測定結果に異常がみられるか確認する。
- 検体再評価
検体が考えられる原因に生理学的な中絶や病態を併用して、検体再評価を行い、反応に差があるかを確認する。再検により、原因となる非特異反応が確認できず、非特異反応の影響がなくなる。しかし、信頼性が保たれない非特異反応は存在する可能性がある。
- 検体再評価
試薬専用の標準物質を血清に一定の割合で添加し、追加後の測定結果を確認する。自己抗体が原因の非特異反応では回収率が低下する。
- 検体再評価
検体再評価が原因の場合、これを報告することにより測定値が低下する。抗体検出系検査の検定試験として用いる。
- 検体再評価
PEGを添加することにより濃縮液を介して非特異反応を抑制させ、検体プロパリンを添加・除去する。FT3と分子量が近い成分を目的とする場合はAを行う。

図1 非特異反応の対処法(文獻)より作成

参考文献 | 自衛隊立 血液検査の標準化委員会との検討方法. 日本臨床検査技師会誌. 2015; 41(1):3-6.

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP